



真龍小便り

【学校の教育目標】
☆心と体をきたえる子
☆美しい心をもつ子
☆考えて行動する子
☆生き生きと学ぶ子

No.5 令和5年7月24日発行

「考え方のクセ」

校長 斉藤 直彦

人は、自分にとってあまり良くないことが起きると、そのあとの考え方もあまり良くない方向に進みがちです。

例えば、

・AさんとBさんは、校外学習に出かける際のバスの席で、「となりどうしに座ろうね。」と約束していましたが、Aさんがバスの中に入っていくと、BさんはすでにCさんの隣に座っていました。

このような状況下で、もし、自分がAさんだったらどんなことを考えるでしょうか？

Aさんにとっては、あまり良くない出来事ですので、Aさんの考えもあまり良くない方向に進んでしまうかもしれません。

例えば、

- ① Bさんは、Cさんとも約束をしていたはずだ。
- ② 同じ約束をしていたのに、BさんはCさんを選んだ。
- ③ もう、Bさんのことは、これから全部信じないことにする！
- ④ これから、Bさんから話しかけられても、無視したり、にらんだりしないと気が済まない！

おそらく、ほとんどの人は、③や④まで考えが進んでしまう前に、自分の考えに疑問を投げかけていると思います。

それはどんな疑問かというと、

- ・でも、Cさんと約束していたかどうかは、まだはっきりしていないよね。
- ・となりにCさんが座っていたからといって、すべて信じられなくなるのは、大げさだよね。

というように、自分の考えに疑問を投げかけることで、

- ・あとで、Bさんに事情を聞いてみよう。もしかしたら、Cさんと隣にならなければならぬ事情があったかもしれない。Bさんを疑うのは、それからでも遅くない。

などと、考えることができて、Bさんに聞いてみた結果、誤解だったことがわかるかもしれません。

というように、書くのは簡単ですが、実際にこういう場面に遭遇すると、いろいろな条件が重なって、悪い方向に自分の考えが進んでしまうこともあります。

でも、「自分はこういうふうと考えてしまうことがあるよな。」とか、「結構ネガティブに考えてしまう時があるんだよな。」というように、客観的に自分を見ることができて、自分自身の「考え方のクセ」を理解していると、ネガティブな思考に、自分自身の力で「疑問」（否定ではなく）を投げかけることができます。

もし機会があれば、次は、自分の考えに、「疑問」を投げかける方法について、お知らせしたいな、と思っております。

日	曜	8月の主な行事
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	学校閉庁日
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	学校閉庁日
11	金	山の日
12	土	
13	日	
14	月	学校閉庁日
15	火	学校閉庁日
16	水	
17	木	
18	金	通常日課 講話朝会 前期第2ステージ開始
19	土	
20	日	
21	月	ALT 着任式 夏休み作品展(～8月25日) 宿泊研修保護者説明会 街頭指導～22日 計算力テスト(～25日)
22	火	短縮日課 クラブ② 交通安全指導日 4年社会見学(水鳥観察館)
23	水	プール学習3・4年 委員会⑥(前期反省)
24	木	短縮日課 2年社会見学(茶内周辺)読み 聞かせ(2年中休み)
25	金	短縮日課 SC来校 プール学習5・6年 グラウンド使用不可(講演会準備の為)
26	土	
27	日	※海づくり大会開催記念事業「中村征夫講 演会」真龍小体育館
28	月	児童朝会 生活リズムチェック週間(～3日)
29	火	短縮日課
30	水	プール学習3・4年 委員会⑦
31	木	短縮日課 3年社会見学(種苗センター)

「ながら見守り」のお願い

児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

6年生・修学旅行

7月6～7日、修学旅行が行われました。目的地は北見・網走方面でした。学校出発時は残念ながら雨でしたが、北見に着く頃には晴れ、遊園地やボートなど、予定していた野外活動は滞りなく実施することができました。子ども達は、係の役割を果たしたり、時間を意識して行動したりしながら、様々な活動やホテルでのひと時を存分に楽しんでいました。



6年生にとって、思い出に残る修学旅行になったことと思います。この経験が、今後の学校生活に生かされていくことを期待しています。

地引網体験実施

7月5日(水)、翔洋高校の先生と生徒さんにご指導を受けながら、3年生が地引網体験を行いました。

3年生が力を合わせて地引網を引くと、その中には、カニやエビ、シャコなど、さまざまな種類の魚介類が入っていました。また干潟では、あさり堀も体験することができました。子どもたちは、厚岸の豊かな海について実体験を通して知ることができたようです。



翔洋高校の先生方、生徒のみなさん、とても貴重な体験をありがとうございました。

プール学習

体育で水泳の授業を行っています。厚岸町温水プールをお借りし、水にもぐったり浮いたりする運動や泳ぎ方について学習しています。9月上旬まで、各学年3回実施します。4年ぶりとなるプール学習を、子どもたちが安全に気持ちよく行えるように、施設側とも十分に協議し、指導にあたります。本日、プール学習実施に伴う確認事項について、文書にまとめて配布いたしました。ご家庭でもお子さんと一緒に確認していただけたらと思います。

学校閉庁日のお知らせ

8月4日(金)、10日(木)、14日(月)、15日(火)の4日間、学校閉庁日となっております。詳しくは、本日配付しました別紙文書にてご確認ください。

緊急連絡体制について

今回の学校閉庁期間を含む、土曜・日曜・祝日に、交通事故などが起こり学校へ緊急連絡が必要な場合には、厚岸町役場(52-3131)まで連絡をしてください。役場から、校長または教頭へ連絡が入ることとなっています。

なおその際は、「①保護者の氏名 ②連絡先電話番号 ③学校名 ④児童の氏名、学年・組」を、忘れずにお伝えください。

学校評価保護者アンケートへのご協力ありがとうございました

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。様々なご意見をいただき、改善に向け、取り組みを進めているところです。

なお、結果については、今後分析を行った後、前期第2ステージ開始後にお伝えいたします。

7月7日厚岸港まつり市中パレード

3・4年生の子ども達が、厚岸港まつり市中パレードに参加しました。役場前から駅前まで、通行止めとなった車道で列を組み、厚岸音頭を踊りながら練り歩きました。当日は天気が良く、とても暑かったですが、子ども達は元気よく、堂々と踊っていました。沿道で観覧していた多くの方々から、温かい声援や拍手を頂きました。子ども達の頑張りが、町民の皆さんに勇気を与えたことと思います。



地域の伝統を受け継いでいくことの大切さや、郷土を愛する心を育む貴重な機会となりました。厚岸音頭を教えてくださいました踊りの先生方、子ども達の為に様々な配慮をしてくださった役場の方々、そして、暑い中沿道で子ども達の頑張りを見守ってくださった保護者や地域の皆様、本当にありがとうございました。

See you! クリス先生

外国語ALTのクリス先生が、この度6年間の勤務期間を終え、厚岸町を去られることとなりました。本校最終日となった7月19日には離任式を行い、最後のお別れをしました。クリス先生、楽しい英語の授業をありがとうございました！



がんに関する学習

元厚岸町立病院の看護師長さんを講師としてお招きし、6年生を対象にがんに関する学習を行いました。がんの仕組みや、これまで治療に携わった患者さんの様子についてお話していただきました。がんについて改めて考える授業となりました。

真龍小学校便り おすすめ本(R5.8月号)

『パンダのおさじとフライパン』

作 柴田 ケイコ (ポプラ社)

真龍おはなし隊 中井 弥佳

料理人のくまのクーさんは、最近料理を作るのがおもしろくなくてお店もがら。そんなある日、使っていたフライパンが壊れてしまい、新しいフライパンを探しに出かけます。そこであやしいパンダ道具屋さんに渡されたのが「フライパンダ」。中には小さなパンダのおさじがポツン。おさじが教えた呪文をとえ、フライパンのフタを開けると・・・ふつうの料理がいろんなパンダ料理に大変身！でも、フライパンダには守らないといけな約束が・・・

パンダのおさじのかわいらしいキャラクターと、思わず一緒に呪文をとえたりおどりとくするそんな楽しい絵本です。また、絵のタッチもかわいらしいので、小さなお子さんから大人もほっこりできるお話だと思います。

ぜひ、夏休み中に親子で読んでみてはいかがでしょうか。情報館に所蔵があります。

